

はじめアジアへの八重山地域の農水産物など輸出貨物の需要創出と円滑な輸出ができるよう環境整備を進めます。

また、石垣牛をはじめとする食肉や農産物などの販路拡大を図るため、八重山食肉センターにおける食品衛生管理方法のひとつであるHACCP（ハサップ）認定の取得を促進してまいります。

石垣ブランドの取り組みにつきましては、多様化する消費者ニーズやトレンドを把握しながら、農水産物、特産品や伝統工芸品などを国内外へアピールし、販路の開拓支援に取り組みまいります。

観光お土産品として注目される島の焼き物につきましても、陶芸従事者のニーズや課題等を把握して、島の土を活用した陶芸産地化を目指してまいります。

農業振興につきましては、生産基盤及び農業経営基盤の確立、新規就農支援や後継者支援などの担い手育成、農地の効率的活用、有害鳥獣等防止対策、生産施設整備支援などに、引き続き取り組んでまいります。

また、農業の健全な発展を図り、効率的な農業振興に資する施策につなげるため、自然的、社会的情勢の変化を考慮し、「石垣農業振興地域整備計画」の見直しに取り組んでまいります。

平成29年5月に沖縄県より拠点産地として認定された甘藷（かんしょ）は、今後、本市の主要農産物の一つとして大変期待されています。

甘藷（かんしょ）の沖縄県奨励品種「沖夢（おきゆめ）紫（むらさき）」につきましては、生産拡大を図り、石垣島産のお土産原料としてブランド化及び県内外へのプロモーションに取り

組んでまいります。さらに、ゾウムシ類防除資材購入への補助を行い、「沖夢（おきゆめ）紫（むらさき）」の増産及び品質向上に取り組んでまいります。

製糖産業につきましては、平成29年9月に立ち上げました新製糖工場建設推進協議会を中心に、築55年が経過し、老朽化が進んでいる製糖工場の建替えについて、引き続き調査、研究をしてまいります。

森林活性化促進事業につきましては、間伐、択伐材及び島産材を継続して収穫し、優良木材の安定供給を図るために木材人工乾燥設備を導入し、今後建て替えが計画されている学校や公共施設への利活用を推進してまいります。

国営土地改良事業につきましては、畑地かんがい施設の新設整備に向け、新たに採択された崎枝第2地区の測量設計調査を行うとともに、引き続き伊野田南地区の実施設計を進めてまいります。

農山漁村活性化対策整備事業につきましては、畑地かんがい施設の機能回復及び農業用水の安定供給を図るため、引き続き村中第2地区、開南地区、三川地区の再整備を実施してまいります。

本年3月、JA石垣牛肥育部会は、「石垣牛」のブランド化と品質安定による地産地消の取り組みが地域活性化モデルとして認められ、第47回日本農業賞「集団組織の部」特別賞を受賞しました。

畜産振興につきましては、肉用牛生産農家及び農業生産法人の経営安定と繁殖生産基盤の強化を図る目的で、平成24年度から県内外より優良な繁殖雌牛を導入し、母牛の平均年齢の若返

りや分娩間隔の短縮が図られています。平成30年度も引き続き、優良雌牛90頭を導入し、肥育素牛育成の補助、家畜伝染病対策や肉用牛害虫対策を実施してまいります。

また、産肉能力に優れた山羊の改良増殖を促進し、生産農家の経営安定に資するため、引き続き山羊増殖改良推進貸付事業や自給型飼料作物の導入補助を実施してまいります。

水産業の振興につきましては、本市の主要魚種のひとつである「石垣産マグロ」のブランド化の確立に向け、国際競争力を高めるPR活動的な施設更新を図るため、保全工事などの補助事業導入に向け、関係機関と協議を進めてまいります。また、登野城漁港の安全・安心な利用と就労環境向上のため、引き続き船揚場の改良整備を行ってまいります。

